

家時間の過ぎしかた

〜冬の楽しみいろいろあります〜

まだまだ寒い日が続きます。外に出るのも億劫…そんなとき、ゆっくりおうちでの時間を楽しんでみませんか？おすすめの本を紹介します。

■冬の暮らしを楽しく

冬を楽しむ衣食住を掲載。著者は町内在住の岩上喜実さん。



「しあわせ冬時間の過ごし方」
岩上 喜実
(メディアファクトリー)

■あたたか手作り

編み棒やかぎ針をつかわない、かんたん編み物。



「ダンボール織り機でつくる毛糸もの」
蔭山 はるみ
(アスペクト)

■オリンピック開幕！

アルペンスキーに世界記録はない!? 知れば楽しいスポーツ雑学。



「スポーツ観戦が100倍楽しくなる本②」
鈴木 祐蔵
(ベストブック)

■やっぱり龍馬？

大河ドラマでも注目の龍馬。龍馬と稀代の商人岩崎弥太郎の邂逅を描く。



「龍馬と弥太郎」
童門 冬二
(日本放送出版協会)

■あのパンが作れます

お菓子づくりも楽しく！かわいいパンがいっぱい。



「絵本『からすのパンやさんのパンをつくろう！』」
(文化出版局)

町立図書館の本が本棚に残っていませんか？

うっかり返却日が過ぎてそのままになっている本がありませんか？一度ご確認をお願いします。もしありましたら、至急返却をお願いします。

おめでとう20周年！
〜暮らしによりそう図書館へ〜

リレーコラム『わたしと図書館』

第9回

図書館と私

米原 梨恵さん
(会見小学校6年)

私は、小さいころから、よく図書館を利用します。図書館には、私が読みたいと思う本がたくさんあって、とても好きな場所です。そして、図書館で働いておられる方も、とても明るくて話しかけやすいです。私がよく借りる本は、たいてい本のセンスがいいものです。表紙の文字や、絵にはく力がある本は、中身もおもしろいから、読みおわたあとにまだ本の中にいるみたいにくわくわくします。そんな本がいっぱいある図書館です。

私は、小さいころから、よく図書館を利用します。図書館には、私が読みたいと思う本がたくさんあって、とても好きな場所です。そして、図書館で働いておられる方も、とても明るくて話しかけやすいです。私がよく借りる本は、たいてい本のセンスがいいものです。表紙の文字や、絵にはく力がある本は、中身もおもしろいから、読みおわたあとにまだ本の中にいるみたいにくわくわくします。そんな本がいっぱいある図書館です。

第142回直木賞受賞作入っています



「廃墟に乞う」
佐々木 譲
(文藝春秋)



「ほかならぬ人へ」
白石 一文
(祥伝社)

★貸出中の場合は予約ができません。職員にお尋ねください。